

輸送動向について（8月分）

平成26年9月

1. 輸送概況

今月は、青森・山口地区大雨および台風11号上陸に伴う影響、さらに7月から8月7日まで続いた台風8号による中央西線不通に伴い、月全体では高速貨193本、専貨22本が運休となった（前年は高速貨257本、専貨2本が運休）。

コンテナ貨物は、北海道産野菜の好調な出荷が寄与した農産品・青果物、鉄道へのモーダルシフトが進む積合せ貨物や食料工業品のほか、堅調な国内生産により化学薬品、化学工業品等が前年を上回った。一方、自動車部品が海外調達および現地調達化の進展、エコ関連物資が災害廃棄物輸送の終了により、それぞれ前年を下回った。結果、コンテナ貨物全体では前年比100.8%となった。

車扱貨物は、セメント・石灰石が前年を上回ったものの、石油が北海道での輸送終了により減送となり、車扱貨物全体では前年比97.8%となった。

2. 輸送実績

（単位：千トン、％）

種別 扱別	月 計		前年比	年 度 累 計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,638	1,625	100.8%	8,634	8,455	102.1%
車 扱	689	705	97.8%	3,133	3,374	92.9%

3. 品目別輸送実績表

（単位：千トン、％）

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	157	129	28	121.5%
	化学工業品	155	153	2	101.3%
	化学薬品	108	106	2	101.7%
	食料工業品	272	265	7	102.5%
	紙・パルプ	260	260	0	100.0%
	他工業品	111	123	-12	89.8%
	積合せ貨物	179	171	8	104.4%
	自動車部品	51	66	-15	76.9%
	家電・情報機器	36	38	-2	96.2%
	エコ関連物資	29	37	-8	80.0%
	その他の他	280	277	3	101.3%
コンテナ計	1,638	1,625	13	100.8%	
車 扱	石油	434	450	-16	96.4%
	セメント・石灰石	132	126	6	104.6%
	車 両	67	69	-2	97.3%
	その他の他	56	59	-3	94.7%
	車 扱 計	689	705	-16	97.8%

（車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値）